

問3 過去3ヶ年度の採用人数と離職人数を教えてください。

(令和7年度9月1日時点での採用・離職人数)

※事業所を複数有する場合は、市内事業所における状況を記載してください。

◆採用人数

採用年度	内 訳					
	中 卒	高 卒	専門学校卒	短大卒	大 卒	中途採用
令和5年度	人	人	人	人	人	人
令和6年度	人	人	人	人	人	人
令和7年度	人	人	人	人	人	人

◆離職人数

離職年度	内 訳					
	中 卒	高 卒	専門学校卒	短大卒	大 卒	中途採用
令和5年度	人	人	人	人	人	人
令和6年度	人	人	人	人	人	人
令和7年度	人	人	人	人	人	人

問3-1 離職の理由として多いものを教えてください。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|-----------------------------------|
| 1 業務内容が合わなかった | 2 能力・個性・資格を活かせなかった |
| 3 職場内のコミュニケーションがうまく取れなかった | 4 事務所や工場の環境(音、明るさ、室温、におい等)が合わなかった |
| 5 給与の条件が合わなかった | 6 結婚のため |
| 7 出産、育児のため | 8 家族等の介護のため |
| 9 転居により通勤するのが難しくなった | 10 転職やキャリアアップのため |
| 11 不明 | 12 その他() |

問4 人員の過不足状況(いずれか1つに○)

- | | | |
|----------|----------|---------|
| 1 不足している | 2 過不足はない | 3 過剰である |
|----------|----------|---------|

問4-1 「1 不足している」と回答された方は、不足人数について雇用形態別に記入してください。

正規従業員	臨時 (アルバイト含)	パートタイマー	人材派遣	合計
人	人	人	人	人

問4-2 「1 不足している」と回答された方は、不足状況について以下の選択肢の中から選択してください。(いずれか1つに○)

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 恒常的に人手不足 | 2 繁忙期に人手不足 |
| 3 欠員が生じたための人手不足 | 4 その他 () |

問4-3 「1 不足している」と回答された方は、求める人材について以下の選択肢の中から、優先度の高い順に3つ選択し、【 】に数字を記入してください。

優先度① 【 】 優先度② 【 】 優先度③ 【 】

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 即戦力となる中堅層、専門家 | 2 一定の経験を有した若手職員 |
| 3 新規学卒者（高卒） | 4 新規学卒者（短大卒、専門卒） |
| 5 新規学卒者（大卒、大学院卒） | 6 パート・アルバイト |
| 7 管理職経験者 | 8 外国人（技能実習生・留学生等） |

問4-4 「1 不足している」と回答された方は、人員が充足できない理由について以下の選択肢の中から、選択してください。(複数回答可)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1 募集しても応募がない | 2 従業員の定着率が上がらない |
| 3 内定を出したが辞退された | 4 募集のためのノウハウ不足 |
| 5 募集のための社内人員不足 | 6 募集のための資金不足 |
| 7 その他 () | |

問4-5 「1 不足している」と回答された方は、人員不足に対する対処方法を以下の選択肢の中から、選択してください。(複数回答可)

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1 派遣を利用している | 2 期間限定のアルバイトを採用している |
| 3 日払いのアルバイトを利用している | 4 事業所間の応援・配置調整で対応している |
| 5 従業員による残業で対応している | 6 その他 () |

問4-6 「1 不足している」と回答された方は、人材不足対策として検討している、または関心がある項目を以下の選択肢の中から、選択してください。(複数回答可)

- | |
|------------------------|
| 1 従業員の待遇改善 |
| 2 新卒・中途採用数の増員 |
| 3 社員教育の強化・社員の能力向上 |
| 4 定年延長・定年後の再雇用制度の拡充 |
| 5 新卒・中途採用条件の緩和 |
| 6 業務のデジタル化・効率化による省力化投資 |
| 7 一度退職した社員の再雇用 |

問8 事業所における副業・兼業人材の活用状況を、以下の選択肢の中から選択してください。
(いずれか1つに○)

- 1 副業・兼業人材を活用している
- 2 副業・兼業人材の活用を検討している
- 3 副業・兼業人材の活用に興味はあるが検討には至っていない
- 4 副業・兼業人材の活用予定はない

5. 採用・定着活動について

問9 若年層（15歳～34歳）の採用・定着率の向上等を目的とした取組を実施していますか。(いずれか1つに○)

- 1 取組を行っている
- 2 取組を行う予定又は行いたい
- 3 取組を行っていない

問9-1 「1 取組を行っている」、「2 取組を行う予定又は行いたい」と回答された方は、その取組の内容を以下の選択肢の中から選択してください。(複数回答可)

- 1 採用前の詳細な説明・情報提供
- 2 本人の能力・適性にあった配置
- 3 業績評価や仕事の成果に見合った賃金
- 4 昇格・昇任基準の明確化
- 5 教育訓練の実施・援助
- 6 労働時間の短縮・有給休暇の積極的な取得奨励
- 7 気軽に悩みを相談できる場や機会の創出（メンタルヘルス支援）
- 8 ハラスメント防止に向けた研修
- 9 育児休暇制度の取得奨励や育児に配慮した人事配置など子育て支援
- 10 配転・勤務地等人事面での配慮
- 11 休憩所やトイレの整備等職場環境の充実
- 12 従業員による趣味のサークル活動やレジャー活動に対する費用支援
- 13 その他（ ）

問9-2 「1 取組を行っている」と回答された方は、その取組の成果を以下の選択肢の中から選択してください。(いずれか1つに○)

- 1 応募が増加した
- 2 退職者が減少した
- 3 今のところ効果は見られない

問 10 若年者の離職防止・定着率向上のため、市役所の支援が必要だと思われる取組を記入してください。(自由記述)

問 11 女性が働きやすい職場環境づくりについて当てはまるものを、以下の選択肢の中から選んでください。(いずれか1つに○)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 取組を行っている2 取組を行いたいと考えているが、実施には至っていない3 取組を行っていない |
|--|

問 11-1 「1 取組を行っている」「2 取組を行いたいと考えているが、実施には至っていない」と回答された方は、女性社員が働きやすい職場環境づくりに向けて、取り組んでいる又は検討している項目について以下の選択肢の中から選択してください。(複数回答可)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 女性活躍支援の計画策定 ※2 研修等を通じた、育児や介護休暇制度、短時間勤務制度の周知や利用促進3 管理職を対象とした育児や介護休暇制度、短時間勤務制度への理解促進4 業務の効率化による育児や介護休暇制度、短時間勤務制度の利用促進5 フレックスタイムや在宅勤務等柔軟な働き方の導入6 配偶者の転勤先への異動・同行休業の制度の導入7 生理・不妊治療や更年期症状等の際に利用できる女性休暇の導入8 定時退社日の設定や業務の効率化による時間外労働の短縮9 女性のキャリア形成、キャリアアップに係る研修や資格取得支援10 妊娠中や出産後の悩みを気軽に相談できるような相談窓口の設置11 事務職や営業職から総合職への転換制度の導入12 パートタイムから正職員への転換制度の導入13 勤務地を限定した雇用制度の導入14 女性が使いやすいトイレ、ロッカー、休憩所の整備や、職場の衛生環境の改善15 事業所内への託児所の設置や、ベビーシッター利用支援16 その他 () |
|--|

※常時雇用する従業員が 101 人以上の企業は一般事業主行動計画（企業が、次世代育成支援対策推進法に基づき、期間雇用者などを含む全従業員の仕事と子育ての両立を図るために策定する計画）の策定が義務付けられています。

問 1 1-2 「2 取組を行いたいと考えているが、実施には至っていない」と回答された方は、実施に至っていない理由を教えてください。(複数回答可)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1 取組を行うためのノウハウがない | 2 取組を行うための人員の不足 |
| 3 取組を行うための資金がない | 4 その他 () |

問 1 1-3 「3 取組を行っていない」と回答された方は、取組を行っていない理由を教えてください。(複数回答可)

- | |
|--|
| 1 女性の従業員がいない、または少ないから |
| 2 女性の従業員のために取組を行うことについて、社内の理解が不足しているから |
| 3 結婚や出産を機に中途退職してしまう女性の従業員が多いから |
| 4 どのような取組を行えばいいのかわからないから |
| 5 その他 () |

問 1 2 新規学卒者(大卒・大学院卒)や第二新卒者(卒後2~3年)の採用についての考えを、以下の選択肢の中から選択してください。(いずれか1つに○)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1 採用したい | 2 どちらかといえば採用したい |
| 3 学歴要件はないので、応募があれば採用する | 4 どちらかといえば採用したくない |
| 5 採用したくない | |

問 1 2-1 「4 どちらかといえば採用したくない」、「5 採用したくない」と回答された方は、その理由を以下の選択肢の中から選択してください。(複数回答可)

- | |
|---------------------------------|
| 1 大卒資格を必要としない業種だから |
| 2 給与水準(人件費)が高くなるから |
| 3 特定の分野の専門カリキュラムを修学した人材を雇用したいから |
| 4 募集しても応募がないと思うから |
| 5 その他 () |

問 1 3 登録している人材情報サービスを、以下の選択肢の中から選択してください。(複数回答可)

- | | | |
|---------|--------|-----------|
| 1 リクナビ | 2 マイナビ | 3 Fターン |
| 4 スタンバイ | 5 なし | 6 その他 () |

問 1 4 自社の情報発信の方法を、以下の選択肢の中から選択してください。(複数回答可)

- | | | |
|------------|----------------|-----------|
| 1 自社ホームページ | 2 Facebook | 3 インスタグラム |
| 4 LINE | 5 X(旧 Twitter) | 6 TikTok |

7 なし

8 その他 ()

問 15 令和8年度の採用予定数を、以下の選択肢の中から選択してください。(いずれか1つに○)

1 増やす

2 前年並み

3 減らす

4 未定

5 なし

問 15-1 「1 増やす」「3 減らす」と回答された方は、その増減の見込人数を教えてください。(いずれか1つに○)

1 1～2人

2 3～4人

3 5～6人

4 7～8人

5 9～10人

6 11人以上

6. 外国人材の活用について

問 16 これまでに外国人材を雇用したことがあるか、当てはまるものを選択してください。(いずれか1つに○)

1 ある

2 ない

問 16-1 「2 ない」と回答された方は、外国人材の雇用についての意向を、以下の選択肢の中から選択してください。(いずれか1つに○)

1 積極的に雇用したい

2 雇用に際しての行政による支援があれば雇用したい

3 どちらともいえない

4 現時点で雇用は検討していない

5 雇用したくない

問 16-2 「1 積極的に雇用したい」「2 雇用に際しての行政による支援があれば雇用したい」と回答された方は、南相馬市多文化共生センター（通称：SAKURA）による支援を希望しますか。(いずれか1つに○)

南相馬市多文化共生センター（通称：SAKURA）：市内企業における外国人雇用や地域での共生等を目的とした相談対応や支援等は無償で実施する施設。

1 希望する

2 希望しない

問16-3 「3 どちらともいえない」「4 現時点で雇用は検討していない」「5 雇用したくない」と回答された方は、その理由について教えてください。(複数回答可)

- 1 雇用に関する手続方法が分からない
- 2 雇用に必要な費用が高い
- 3 在留資格によって在留期間が決まっている
- 4 コミュニケーションに不安がある(言語)
- 5 コミュニケーションに不安がある(文化)
- 6 なんとなく不安がある
- 7 外国人労働者に対するネガティブなイメージがある
- 8 そもそも外国人労働者を雇用するメリットが分からない
- 9 考えたことが無い
- 10 その他()

7. 賃金について

問17 前期と今期を比較して、賃金のベースアップ(全従業員を対象とした基本給の引上げ)の状況について当てはまるものを選んでください。(いずれか1つに○)

- 1 実施した
- 2 実施していないが、今後実施する予定
- 3 実施していない

問17-1 「1 実施した」と回答された方は、引き上げ率を選択してください。(いずれか1つに○)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1 5%以上 | 2 4%以上5%未満 | 3 3%以上4%未満 |
| 4 2%以上3%未満 | 5 1%以上2%未満 | 6 1%未満 |

問17-2 「3 実施していない」と回答された方は、その理由について当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 原材料費・電気代・燃料費などが高騰しているため | 2 コスト増加分を十分に価格転嫁できていないため |
| 3 増員を優先するため | 4 業績または受注の見通しに不安があるため |
| 5 設備投資を優先するため | 6 既往債務の返済に影響を与えるため |
| 7 金利の引上げが予想されるため | 8 その他() |

8. 奨学金について

問18 日本学生支援機構が実施している「企業等の奨学金返還支援(代理返還)制度」を導入していますか。

- 1 導入している 2 導入していない

問19 現在、奨学金を返済している従業員はいますか。

- 1 いる 2 いない 3 分からない

問19-1 「1 いる」と回答された方は、奨学金の種類ごとの人数を教えてください。

- | | | | |
|---|-----------------|---|----|
| 1 | 日本学生支援機構 第一種奨学金 | (| 名) |
| 2 | 日本学生支援機構 第二種奨学金 | (| 名) |
| 3 | 県や市など地方自治体の奨学金 | (| 名) |
| 4 | 民間団体の奨学金 | (| 名) |
| 5 | 金融機関の教育ローン | (| 名) |
| 6 | わからない | | |

問19-2 「1 いる」と回答された方は、県や市の奨学金支援制度名を教えてください。

- 1 支援制度名 ()
※記入例 (南相馬市：奨学金返還支援事業補助金)
- 2 わからない

9. 市の補助金や支援制度について

問20 市の補助金や支援制度についての情報を得る手段（複数回答可）

- | | | |
|---------------|-------------|-----------|
| 1 広報みなみそうま | 2 チラシ・ポスター等 | 3 市ホームページ |
| 4 みなみそうま就職ナビ | 4 商工会 | 5 金融機関 |
| 6 広域雇用促進支援協議会 | 7 その他（ | ） |

問21 市の補助金制度に対する要望（自由記述）

問22 補助金制度以外で人材確保に関して必要だと思う市のサポート（自由記述）

10. 労働行政に対するご意見、ご要望等（自由記述）

《設問は以上となります。回答にご協力いただき誠にありがとうございました。》

【回答期限：令和7年9月30日（火）】

FAX 又はメールで提出をお願いいたします。（Web 回答の場合は本票の提出は不要です。）
（南相馬市商工労政課 FAX：23-7420 / メール：syokorosei@city.minamisoma.lg.jp）